

### 1 PLAN(目的・概要)

政策名	国際競争力及び産業競争力の強化と港湾物流の環境変化に対応した港づくり	30年度事業・施策評価結果		責任者	建設部 管理課長	
施策名	産業の高度化・新展開・創出と広域物流拠点の形成	成果	コスト			
事務事業名	西部地区埋立地の分譲			連絡先 連携課	052-654-7922	
目的	対象(誰・何を)	第1・2貯木場埋立地の分譲地 第1貯木場南埋立地、稲永ふ頭埋立地(いずれも平成30年度埋立しゅん工)			事業 期間	平成20年度～
	意図(どうい う状態にしたいか)	全て分譲します。 第1貯木場南埋立地、稲永ふ頭埋立地については分譲に向けた用地整備を進めます。				
概要	これまで応募の無かった分譲地(2区画約9.2ha)について、名古屋港の物流拠点として重要な土地であることから、企業動向の把握に努めながら、土地の需要を見極めつつ分譲地の分割について検討し、企業進出の見通しが立った時点で分譲公募を行います。			根拠 法令等		
令和元年度の実施予 定	分譲地の分割について検討するため、既存の基盤整備を踏まえて敷設可能となる新たな排水計画、上水計画及び道路計画の観点から、需要の多い2ha程度の複数区画に分割する案を調査し、及びその分割案に要する基盤整備の概算事業費用について調査するため業務委託を行います。 ただし、現状の分譲面積で企業進出の見通しがでてきた場合は、公募の準備を開始します。			実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
				関連 シート		

### 2 DO(実施)

令和元年度に実施した 内容・結果	飛島ふ頭第2貯木場埋立地約7.2haについて、事業者からの保管施設用地としては規模が大きいとの意見を踏まえ、外部委託により、需要の多い2haを基準とした分割配置を検討・調査しました。また、それに伴い必要となる道路計画、敷地及び道路の排水計画などにつき、概算工事費も含めて検討を行いました。 なお、令和元年度は、土地利用条件に合致する事業者からの取得意向は確認できず、分譲公募は実施できませんでした。 また、弥富ふ頭第1貯木場南埋立地、稲永ふ頭埋立地については、しゅん工後間もないこともあり、今後の基盤整備に向け土地の保全に努めています。令和元年度は第1貯木場においてしゅん工の揚土やフェンスの設置等を実施しました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	295	0	23,244	7,846	分譲公募は実施できなかったものの、分譲地の分割検討調査(「飛島ふ頭第2貯木場道路計画検討調査」)や公共用地の保全(除草シート設置)、また、第1貯木場南埋立地の保全(揚土、フェンス設置等)に係る業務を実施したため、事業費が増加しました。
人件費	千円	4,595	4,610	4,587	4,597	
合計	千円	4,890	4,610	27,831	12,444	

### 3 CHECK(検証)

成果目標名	29年度	30年度	元年度	最終目標	5	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
第2貯木場分譲地の 分割までの進捗状況 (全3工程)	目標			1	3(累計)	以下の項目のうち完了した工程数を合計します。 ①分割案の作成②分割案を踏まえた需要調査③需要を踏まえた分割案の決定	
	実績			1			
(進行管理型)	事業進捗状況(元年度)			順調	やや遅れ・遅れ		
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	飛島ふ頭第2貯木場埋立地の分割については、令和元年度の検討調査において、複数パターンの土地分割方法及びインフラ整備に係る概算工事費の想定案の作成が完了しております。今後は事業者の意見を参考に、実際の区画割りを検討・決定していきたいと考えていますが、令和元年度末時点の進捗状況としては、順調に進んでいると考えております。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性 本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か？ 事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか？	○	飛島ふ頭第2貯木場埋立地の未分譲地7.2haについて、事業者からの問合せ等において、保管施設用地としては規模が大きいとの意見が複数寄せられたことから、事業者の進出を促す方策として、ニーズに合わせた分譲面積や必要なインフラ整備の検討を行っているものです。					
有効性 事務事業の目的は、施策達成に貢献するか？ 期待どおりの成果が得られているか？	○	事業者の進出を促す方策として、分譲面積やインフラ整備の検討を行っているものであり、分譲地の売却促進につながるものと考えております。また、令和元年度末時点の進捗状況は順調に進んでいると考えております。					
効率性 最小のコストとなっているか？	○	調査委託業務に係る調整等、付帯業務の増加についても最少の人員で対応し、継続的なコスト削減に努めました。					

### 4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	埋立地の分譲に向けて、今後も継続していく必要があるため。
課題	2年度以降の取組		
西部地区の分譲地の需要を見極めるため、速やかに分譲面積の分割等について検討を進めるとともに、企業動向の把握に努めていく必要があります。	弥富ふ頭第1貯木場埋立地の未売却の分譲地2haについては名古屋港の物流拠点として重要な土地であることから、引き続き企業動向の把握に努めながら、土地の需要を見極めていきます。 第2貯木場埋立地の分割については、令和元年度の検討調査により得られた複数の分割案をもとに、事業者の意見を参考にしながら、区画割りや施設の具体的な整備内容について検討を進めていきます。 第1貯木場南埋立地、稲永ふ頭埋立地については、引き続き土地の保全に努めるとともに、順次将来の分譲に向けた基盤整備を行っていきます。		